

地域バイオマス利活用交付金(施設整備事業)

東北農政局

都道府県	市町村名	地区名	事業実施主体	事業内容	評価年度	事業計画目標	目標達成状況		事業実施主体	総合評価		備考
							実績値	達成状況		都道府県	農政局等	
福島県	西郷村	西郷	西郷村	地域モデルの実証:堆肥製造施設の整備	H24	計画受入量:19.0t/年 計画生産量:2.9t/年	7.41t/年 0.32t/年	39.0% 11.0%	放射能問題から、たい肥を農地に還元できず、資源の循環的な利用やエネルギーの有効活用ができていないが、農地還元ができないにしても廃棄物の減量化という観点から、条件が整い次第たい肥製造を再開したい。また、当初の目的では、たい肥の農地利用に加え、各小中学校の花壇等での利用なども考えていたため、今後はそうした場所での利用を進めたいと考える。 運用初年度から予期せぬ事態の発生により、当初計画と大きく乖離した運用状況となったが、本施設が小学校に隣接している立地条件から、バイオマス資源の循環的な利用やエネルギーの有効活用、廃棄物の減量等の実証モデルとして、小学生への環境負荷の低減や地球環境保全のための学習機会の提供につながっているものとする。	-	【所見】 本事業は、平成23年4月より運営していたところ、同年9月に行なった放射能汚染検査によって製造した堆肥から放射性物質が検出されたことを受け、平成23年10月から施設の運営を中止したため目標は未達成となっていたが、今後の事業継続の可能性があることから、以下の改善を行う必要があると考える。 【改善の方向】 本施設は、堆肥の放射能汚染検査を行うため平成24年6月より堆肥の製造を再開しており、今後の事業継続が考えられることから、目的の達成に努めた運営が期待される。 ただし、補助事業の目的を達成するためには、製造した堆肥が適切に利用されることが必要であるので、製造した堆肥の放射能汚染検査の定期的な実施や、堆肥の安全性に関する利用者への丁寧な説明等により、堆肥の利用を進めることが必要と考える。	現在、改善計画を調整中